

平成21年度 地域資源活用プログラム等 各種支援策の採択状況

1. 地域資源活用売れる商品づくり支援事業

H21.7.31現在

NO	事業者	地域	地域資源	概要	採択年月日等
1	長谷製陶㈱	伊賀市	伊賀焼	・伊賀焼は、古琵琶湖層粘土の耐熱、耐火、多孔室性、吸水性に優れた特長を有しており、古来、調理陶製器の産地であった。 ・本事業では、産地の原点に立ち返り、気軽に安全で楽しく調理ができる製品群～「温・故・値・新」シリーズ～の試作・開発、販路開拓を行う。3年目となる本年度は、PR事業の強化、IH新機種対応調理器をはじめとする商品群の更なる改良、国内展示会への出展等を実施し、販路拡大を目指す。	事業計画： H19.10.12認定 補助金： H21.4.1採択
2	ギョルメ舎フーズ㈱	紀北町	東紀州の干物	・紀北地域の水産加工業を中心に設立された異業種交流グループを母体として、電子レンジで簡単に味や風味を損なわない日本初の技術（ジェットオープン新製法）の開発に成功。新商品「そのまんまシリーズ」を事業化した。 ・本事業では、一流料亭の味を目指し、試作品開発や市場調査、事業PRを展開する。今年度は、昨年度に引き続き、新たな商品開発を目指すとともに展示会やホームページを活用した事業PRに努める。	事業計画： H19.12.10認定 補助金： H21.4.1採択
3	ミナミ産業㈱	四日市市	四日市萬古焼	・豆腐機械専門メーカーとして蓄積したノウハウと伝統的萬古焼の特性である耐熱性を生かして、「出来立てのおいしい豆腐を食べてもらいたい」という思いから「萬来鍋」を考案開発。 ・本事業では、販路開拓のため、外食関係者、バイヤーをターゲットとした国内外の展示会に出展するとともに、ホームページを活用した事業PR、アジア圏での市場調査を実施する。また、昨年度実施した展示会での調査結果を踏まえた商品改良を行う。	事業計画： H19.12.10認定 補助金： H21.4.1採択
4	㈱アシベ工芸	龜山市	龜山のローソク	・燭の実由来の木蠟を配合しつつ、芯糸には綿糸を使用した芯切不要な新たな和ろうそくを開発し、量産化と安定供給を実現。洋ろうそくに比べ、CO2排出量を約7%～10%抑制し地球温暖化の効果もあり、また油煙や煤が少なく、仏壇が汚れにくいことなどが特徴である。 ・本事業では、新和ろうそく「御あかり」の認知度を高めるため、国内各種展示会へ出展する。また、商品ラインナップや本製品の特製をより効果的に説明するため、一般消費者向けのホームページを作成する。	事業計画： H20.9.24認定 補助金： H21.4.1採択
5	漁火食品㈱	南伊勢町	伊勢志摩の干物	・一夜干し干物の独自の生産技術を生かし、従来の半生加工ではなく、完全火通しとオリーブオイルやワインを使用した真空包装により完全加工品である新しい干物を開発した。焼き揚げを行っているため、家庭で調理することなく一夜干しを手軽に食することができる他、賞味期限の短い一夜干（通常7日程度）を常温保存で30日へ延長することが可能となった。 ・本事業では、商品価値を向上させるため、オリーブ焼きの改良とワイン焼きの試作を行う。試作品については、細菌検査を行い安全性の評価を行うとともに、パッケージデザインについても検討する。	事業計画： H20.9.24認定 補助金： H21.4.1採択
6	㈱アーリー・バード	伊勢市	鳥羽の離島	・鳥羽市の離島（神島・志志島・菅島・坂手島）の観光資源、地域資源を活用し、三重大学の運動・栄養・医療それぞれの専門の先生による健康づくりのノウハウを活かした「糖尿病や血糖値が気になる方のための健康ツアー」を企画した。今後、個人客では生活習慣病に関心が高い中高年層、団体客では大手企業の健康保険組合ルートに対し販路開拓を行う。 ・本事業では、ベンチマーキングとして他の先進的な健康旅行を調査するとともに、本事業「ウェルネスの旅」に各種測定を試験的に導入する。また、展示会等において事業PRを行うことで、知名度向上や新規顧客開拓を目指す。	事業計画： H20.9.24認定 補助金： H21.4.1採択
7	㈱若松屋	伊勢市	水産練製品	・水産練製品は、従来、商品の優劣を決めるのは食感（プリプリ感）と風味であるが、本製品「ソフト新魚肉練り商品シリーズ」は、その既成概念にとらわれない新しいテクチャー（食感）「ソフトな食感」の製品を開発した。従来の「和」の商品からテリーヌ、パテ、ディップソースなど洋惣菜としての新分野を切り開くものである。 ・本事業では、市場調査を実施し、その結果をもとに試作品を開発・評価・分析を実施する。また、各種展示会に出展し、事業PRを行うことで販路拡大を目指す。	事業計画： H20.9.24認定 補助金： H21.4.1採択
8	㈱堀製麺	四日市市	伊勢うどん	・小麦を覆っている皮や胚芽などを捨てず、小麦の大部分を使用した「全粒粉配合の伊勢うどん」は、三重県産小麦100%「あやひかり」と「農林61号」使用の伊勢うどんの生地と、同じく三重県産小麦100%「タマイズミ」と「ニシノカオリ」の全粒粉を生地に30%配合した新商品である。企業、工場給食、学校給食、飲食店等の業務用と量販店、専門店、高速道路サービスエリア、インターネット等の個人用の双方をターゲットとし、販路拡大を目指す。 ・本事業では、展示会への出展やホームページの作成を通じて事業PRを行うとともに、展示会等における要望等の意見を収集し、各種課題を改善するための試作・改良を行う。	事業計画： H21.2.23認定 補助金： H21.4.1採択
8	㈱アイシーイー	志摩市	真珠	・従来の真珠の加工法では経年劣化しやすい真珠本来の色と艶を、新開発の溶剤を使用することで長期にわたって保持することを可能にした。 ・本事業では、溶剤の浸透力に関する試験研究を行うほか、国内及び海外において展示会を開催し、さらなる販路開拓を目指す。	事業計画： H21.7.10認定 補助金： H21.7.31採択

## 2. 地域資源活用販路開拓等支援事業

NO	事業者	地域	地域資源	概要	採択	備考
1	桑名サンダル履物協同組合	桑名市	桑名サンダル	【桑名サンダルの新規販路開拓を目指した「全国サンダルフェア」への出展事業】 桑名サンダルのブランド認知度向上と需要拡大を目指し、過去の反省点を踏まえながら、全国規模の展示会へ出展。また、今年度は若者をターゲットとした新商品を開発すべく、地元サーファーとデザインや機能性についてモニタリング調査を行い、その意見を反映して作成したプロトタイプを加えて展示する。この中で、市場性の調査を行うとともに、既存の商品コンセプトと全く異なった新商品開発の糧とすることを旨とする。	H21.6.26採択	

## 3. 地域資源∞全国展開プロジェクト

【平成21年4月23日採択】

NO	事業団体	概要
1	亀山商工会議所	【東海道三宿の地域資源発掘と「街道賑わいプラン」策定事業】 亀山市のまちづくり計画(平成21年度より10年間)と並行し、東海道三宿の地域資源を発掘、それを活用した「街道賑わいプラン」を策定。22年度以降の大人の街道観光名所へのブランド力向上に向けた事業へと繋げる。
2	伊勢商工会議所	【外宮さんにちなんで「どんぶり」を創ろう！】 天照大御神のお食事を司る外宮さん(豊受大神宮)は職の神様であり、その神話から日本人の食の原点とも言える「米」とそれを基本として利用する「どんぶり」に注目し、「食の聖地・伊勢」として新しい地域ブランドイメージを確立する。
3	熊野商工会議所	【世界遺産を結ぶ旧街道の復活事業による観光開発】 世界遺産を結ぶ旧街道(木本街道)を整備、復活させ、観光客が散策や買い物、憩いができるようバランスよく商店が配置され、昔懐かしさが彷彿されるような商店街作りを目指し観光開発の拠点となりえる商店街の形成を目指す。
4	松阪西部商工会	【奥松阪(香肌峡)の自然と農林資源特産品の全国発信事業】 観光資源として潜在能力の高い香肌峡・奥香肌峡等、きれいな水と空気に育まれた高原野菜・山菜・材木などの農林資源を利用した特産品を、奥松阪ブランドで統一して全国発信し、過疎化・高齢化・就業機会減少など地域課題の解決に繋げる。
5	志摩市商工会	【小さくてもきらりと光るアウトレットブランド開発事業】 真珠養殖や漁業現場において水揚げされる市場価値の乏しい他品種な水産物を、農工商連携により「宝」へと特産品開発し、アウトレットブランドとして商品化する。また、伊勢神宮式年遷宮に向けて、持続可能な観光地づくりを目指す。
6	菰野町商工会	【おかえりなさい。夕焼け空に赤トンボ舞うマコモの里へ】 菰野町名由来の植物「マコモ」を活用し、収穫時期限定の体験型ツアーとマコモ料理メニュー、マコモ粉末や乾燥緑葉を利用した特産品開発の二本立てにより、近隣大都市圏からの年間来訪者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。
7	度会町商工会	【伊勢の山の贈り物・獅子と鹿を活用したお伊勢さんブランドづくり】 度会町では、猪・鹿による農作地の獣害が深刻化している。このマイナスの地域資源をプラスの地域資源として活用した料理や特産品を創作・販売する新たな「食」の連携事業を起業することにより、地域経済の振興を図る。
8	紀北町商工会 御浜町商工会 紀宝町商工会	【東紀州の国～『逸品おみやげ・逸品名物料理づくり』】 東紀州地域の農林水産資源を基にした優れたアイデアを持ちながら、経営資源の不足から実現化出来なかった小規模事業者等の掘り起こしを行い、平成24年度に東紀州地域に開通する紀勢自動車に焦点を合わせ逸品特産品と逸品名物料理の開発商品化を実施する。

## 4. JAPANブランド育成支援事業

NO	事業者	地域	地域資源	概要	採択	備考
1	紀北町商工会	紀北町	干物ほか	【日本の伝統的文化「ひもの」を「レンジでチン」で市場拡大～神の国日本のブランド「きほく」で売る込む～】 中国(マカオ)と米国(ニューヨーク)の「成熟市場」でのブランド拡張を目標に、食品専門商社及びマーケティング・エージェントと提携して、これまで展開してきた商品とマーケティングノウハウの市場適合化の戦略を調査分析する。	H21.6.30採択	先進的ブランド展開支援事業
2	一般社団法人日本真珠協会	志摩市	真珠	【“真珠匠”-日本の心、秀逸の技。-Perle de la Japonaise】 「真珠=日本」と海外から認知されているにもかかわらず、海外産真珠との価格競争によって文化的、感性的価値を見失いつつある真珠の魅力を再発見し、その魅力を国内外に発信することを目指して、ターゲットを明確化するための海外市場調査や、有名デザイナーを活用した新規ブランド立ち上げ等を行う。	H21.10.20採択	ブランド確立支援事業(1年目)

## 5. 新事業活動促進支援補助金(農工商等連携対策支援事業(事業化・市場化支援事業))

NO	事業者	地域	概要	採択	備考
1	おわせ深層水しお学舎(株)	尾鷲市	尾鷲特産の甘夏みかんと、みえ尾鷲海洋深層水の塩で作る体にやさしい「夏柑塩」シリーズの製造と販売事業	H21.4.2採択	
2	近藤緑化(株)	鈴鹿市	日本初のタブの木から抽出したエキスを原料とするリキュールの製造・販売事業	H21.4.2採択	
3	三紀産業(株)	尾鷲市	尾鷲特有の安全、安心な養殖技術から生まれる養殖マダイと養殖ブリを使った、利便性向上を目指した昆布じめ寿司等の加工食品の開発・販売事業	H21.4.2採択	
4	ミナミ産業(株)	四日市市	ニガリ栽培作物(大豆・米)の高次利用	H21.4.2採択	
5	丸勢水産(有)	志摩市	三重県産天然「ありのふぐ」を使用したトラフグ加工食品等の開発・販売事業	H21.7.31採択	